

目的 衣服圧の胸腹部における衛生学的許容値は、 $40\text{g}/\text{cm}^2$ とされているが身体の各々の部位において異なると考えられる。そこで本研究は、身体各部位における衣服圧の快適領域を知ることを目的とし、今回は日常着用される整容着の衣服圧について基礎的資料を得るために、部位や動作と衣服圧との関連について検討を行う。

方法 衣服圧測定には共和電業、LM-A 500型抵抗線歪計素子を使用した。被験者は、健康な女子学生20名とし、被験者が日常使用しているブラジャー、ガードルについて比較的高い衣服圧が加わっていると考えられる部位（ブラジャー……肩、上胸、下胸、脇、背、ガードル……胸部、腹部、腰部、大腿部）について立位正常時、立位深呼吸時、椅座位正常時の衣服圧を測定した。

結果 1) ブラジャーおよびガードルの衣服圧は、測定の際返しによる差はほとんどみられないがいずれも個人差は大きい。

2) ブラジャーについて……肩、上胸、下胸、脇、背の各部位により衣服圧が異なり、上胸を除いてその他の部位では、平均値で $40\text{g}/\text{cm}^2$ を上回る衣服圧が計測された。

3) ガードルについて……ブラジャー同様各部位の衣服圧が異なり、腹部、腰部の面圧領域では $40\text{g}/\text{cm}^2$ をはるかに下回る反面、胸部の線状部分では $40\text{g}/\text{cm}^2$ を上回る衣服圧を与えるガードルが日常着用されていることがわかった。